

MPA(メダルポテンシャルアスリート)指定選手等編成基準要綱

(2016年度・平成28年度版)

【目的】

- 1 この基準要綱は、公益社団法人日本ライフル射撃協会(以下「協会」という)が、2020年以降の射撃競技国際競技大会に於いて、メダルを獲得し得る選手の強化を図る為、必要に応じて発掘・育成・強化し、MPA(メダルポテンシャルアスリート)の指定に関して必要な基準となる事項を定めることを目的とする。

【用語の定義】

- 2 この要綱で使用する用語の定義を次のように定める。
 - 2-1 「MPA(メダルポテンシャルアスリート)選手」(以下MPA選手という)
 - 2-1-1 「MPA選手」とは将来的に日本を代表し、国際競技大会に於いてメダルを獲得し得る選手の育成を図る為に指定された選手のことをいう。
 - 2-1-2 「MPA選手」は、MPA委員会の指定を受け、活動を行う。
 - 2-1-3 「MPA選手」は、将来的に日本を代表する国際的な競技力を備える為、人格見識及び射撃技術の習得に旺盛な向上心を有し、恒常的かつ継続に努力する選手をいう。
 - 2-2 「MPA選手」の指定対象期間
 - 2-2-1 指定された当該年度(4月から3月)とする。
 - 2-2-2 年度末の段階で、NTランキングにおいて、各カテゴリーの基準点をクリアしている選手は、翌年度の申請ができる。
 - 2-3 「MPA選手」のカテゴリーを5つに分類する。(表1)
 - 2-3-1 年齢別(指導体系別)に分類し、年齢はISSFルールにより各年末日の満年齢とする。
 - 2-3-2 強化の重点は、U-30>U-22>U-18>U-15>U-12の順とする。
 - 2-4 MPA委員会
 - 2-4-1 委員長がMPAコーチ、日本学生ライフル射撃連盟理事、高校部会常任委員から委員を指名し、理事会で承認されたメンバーによって構成する。
 - 2-4-2 MPA委員会メンバーは、委員長の方針に沿って、MPA選手の指定および国際試合の派遣選手を選出し理事会で承認されたメンバーを派遣する。
 - 2-5 「MPAコーチ」について
 - 2-5-1 MPA委員会の方針のもと、ナショナル専任コーチングディレクターのノウハウを活用し「MPA選手」の発掘・育成・強化にあたるコーチをMPA委員会が指名する。
 - 2-5-2 NRAJ指定のC級コーチ以上の資格を取得していること。
 - 2-5-3 年少者の指導に当たるため、自ら銃を所持し、射撃指導員の資格を有する者、もしくは今後取得予定のもの。
 - 2-6 「MPAブロック」について
 - 2-6-1 全国を5分割(北海道&東北・関東・中部・西日本・九州)してブロックを構成する。
 - 2-6-2 ブロックの配置は<表2>の通りとする。
 - 2-6-3 MPAコーチはブロック毎にMPA指定対象となる選手を把握し、強化(発掘・育成)の計画を立案し、事業を実施する。

【対象種目】

- 3 MPA選手の指定対象とする競技種目は以下の通りとする。
 - 3-1 オリンピック種目

【選手の指定】

- 4 各カテゴリー基準点を1回以上記録した選手本人(または未成年の場合は保護者)からの申請により、MPA委員会が条件を満たすこと確認して選出し、理事会の承認を得て指定する。

人数枠は設けない。(カテゴリー区分における条件は〈表1〉の通り)

- 4-1 未成年のMPA選手にあたっては、申請の際に保護者の同意書を提出する。
- 4-2 MPA選手がNTに指定された場合でも、年齢の枠内であれば、継続してMPA選手として同時に指定する。
- 4-3 MPA指定条件
 - 4-3-1 2020年東京オリンピック以降のオリンピックにおいて、メダル獲得を目標として競技継続の意思のある選手。
 - 4-3-2 高校生以上の選手は、週5日以上(合宿・出場試合日含む)の練習環境を確保できる選手。(週2回以上の実射と、自宅などで射撃分析装置などを利用しての空撃ち練習、フィジカルトレーニング、メンタルトレーニングなどのプログラム実施日を含め、週5日以上、強化の為に射撃に取り組めること)
 - 4-3-3 中学生は週2日以上、小学生は月4日以上の練習環境を確保できる選手。
 - 4-3-4 高校生以上の選手はNT選考会(ピストルは全国ピストル春夏秋冬大会)を1回以上含む、NT選考対象試合への出場3回以上を必須条件とし、NTランキング表における点数が各カテゴリーの基準点〈表5〉を超えている選手。
 - 4-3-5 中学生は全日本中学生選手権大会への出場が条件
 - 4-3-6 小学生は全日本小学生選手権大会への出場が条件

【国際大会等への選手派遣】

- 5 MPA委員会は、各年度内に開催される国際大会へ、MPA選手の中から選出し、理事会の承認を得て派遣する。年度当初等、MPA選手が派遣人数に満たない場合は、NTランキングの上位から選出する。
 - 5-1 派遣条件
 - 5-1-1 当該種目の銃を自ら所持している選手
 - 5-1-2 当該種目の省庁銃を使用している選手
 - 5-2 選手派遣する国際大会は〈表4〉の通りとする。
 - 5-3 国際大会等への選手選考方法
 - 5-3-1 派遣対象試合別に、派遣目的と選考対象試合(派遣6週間前までを目安とする)を明確にし、日本ライフル射撃協会のWEBサイト上にて公開する。
 - 5-3-2 派遣目的別に、対象者となる選手をMPA選手からリストアップする。
 - 5-3-3 リストアップ選手の中から、選考期限時点でのNTランキング上位より選出する。
 - 5-3-4 世界大学選手権、ユニバーシアード、【仮称】ユース射撃大会等については、NT選考対象試合に選考会の記録を追加し、ランキング上位者から選考する。〈表4〉参照)
 - 5-4 派遣目的、派遣人数、選考期限については、日本ライフル射撃協会のWEBサイト上で公開する。エリートアカデミー所属選手に関してはエリートアカデミー選手対象予算に枠内で選出し理事会の承認を得た上で派遣する。
 - 5-4-1 現地安全状況、予算状況に応じて派遣試合の追加や、派遣を見送る場合がある。

【MPA合宿】

- 6. MPA合宿の開催
 - 6-1 MPA合宿には「中央合宿」と「ブロック合宿」に分かれる。
 - 6-2 MPA中央合宿
 - 6-2-1 合宿においては、最新の情報(フィジカル、テクニカル、メンタル、アンチドーピング、栄養学等)を学び、MPA選手同士で競い合う環境を提供し、射撃競技総合力の強化・向上を行うことを目的とする。
 - 6-2-2 参加選手は、全国のMPA選手の中から、MPA委員会が合宿の目的別に選手を指定し、予算

- 枠内で人数を決定し招集する。
- 6-2-3 ライフル、ピストル合同、もしくは分かれて実施する。
- 6-3 MPAブロック合宿
- 6-3-1 合宿においては、各ブロックのMPAコーチがMPA委員会の方針に沿って立てた計画に基づき、技術指導(フィジカル、テクニク、メンタル)および、普段の練習方法などについて指導を行うことを目的とする。
- 6-3-2 参加選手は、各ブロックのMPAコーチが、合宿の目的、ブロックの育成・強化状況に応じてブロック内においてルールを定め、MPA選手およびMPA候補選手を指名し予算枠内で人数を決定し招集する。
- 6-3-3 MPA候補選手については、各ブロックのMPAコーチの推薦により決定する。

【MPA選手の義務】

7. MPA選手は以下の事項についてMPA委員会の求めに応じなければならない。
- 7-1 練習および大会出場計画書の作成と提示
- 7-2 MPAコーチ指定の練習メニューの履行とフィードバック
- 7-3 大会出場記録、練習実施記録の提出
- 7-4 国際大会出場時のレポート
- 7-5 その他の資料の提出

【MPA選手の資格停止】

- 8 以下の事項に該当するものは、MPA選手の資格を停止するものとする。
この処置は、即時実施される。
- 8-1 MPA委員会の指導方針に反して故意に反発した者、もしくは合宿・遠征等の活動に関して、MPA委員会の評価に満たなかった者。
- 8-2 MPA事業の目的に沿わない行動を意図的に取り、是正の求めに応じない者。
- 8-3 競技者資格規定に反する者。
- 8-4 アンチドーピング規定に違反し競技者資格を停止された者。
- 8-5 アンチドーピング規定に定める居場所情報提出義務を怠り、競技外検査を過去18か月間に2回忌避したとみなされている者。
- 8-6 MPA選手指定条件を維持できなくなった者。
- 8-7 MPA事業に優先的に参加しない者。

【特別処置】

9. 特別処置
- 9-1 本要綱に定められていない事項について、特別処置をもって選手の指定、国際試合への派遣等を実施しなければならない事態が発生した場合、緊急性、重要性をMPA委員会として取りまとめ、委員長の承認を持って対応することができる。理事会へは事後に報告し承認を得る。

【要綱の改訂】

10. 要綱の改訂
- 10-1 本要綱に改訂の必要が生じた場合は、日本ライフル射撃協会理事会の承認を得て改訂することができる。
- 10-2 本要綱は、MPA委員会が作成し、日本ライフル射撃協会理事会の承認を得て公開する。

付則 本要綱は、平成28年4月1日から実施される。

〈表1〉 カテゴリー区分

カテゴリー			指定条件		
			必須出場	指定試合出場	練習回数
U-30	30歳以下	社会人	R:NT選考会1回以上 P:NT選考会または全国P 春夏秋冬を1回以上	3回以上	週5日以上
U-22	22歳以下	大学生・社会人			
U-18	18歳以下	高校生			
U-15	15歳以下	中学生	全日本中学生選手権		週2日以上
U-12	12歳以下	小学生	全日本小学生選手権		月4日以上

〈表2〉 MPAブロック

東日本ブロック	北海道、東北6県
関東ブロック	関東7都県
中部ブロック	東海4県、北信越5県
西日本ブロック	近畿6府県・中国5県・四国4県
九州ブロック	九州8県

〈表3〉 MPA選手指定対象試合(MPAランキング対象)

	NT選考 ライフル	NT選考 ピストル
① 国際大会(NT/MPAとして出場した大会)	○	○
② 全日本選手権大会	○	○
③ 全日本選抜大会	○	○
④ ライフル NT選考会(3回)	○	
⑤ ピストル NT選考会(4回)		○
⑥ 全国ピストル競技大会(春夏秋冬)計4回		○

ダブルマッチ大会は2試合とカウントする

NT選考会(ピストルは全国ピストル大会含む)のいずれかを含む3回以上の試合に出場すること。

NT選考対象試合の上位3回の平均でランキングを作成する。日ラホームページにて更新する。

NTランキングは国際大会の結果が1年間有効、国内大会の結果が半年間有効である。

詳細はナショナルチーム編成基準要綱(平成28年度版)を確認すること。

〈表4〉 派遣予定の国際大会への選手選考対象競技会を以下の通り設定する。(EAはエリートアカデミーの略)

開催月	大会名	最終対象試合	対象
4月	ワールドカップ(リオデジャネイロ)	リオ五輪アジア予選	U-30
4月	ジュニアカップ(ドイツ)	10m全日本選手権	ジュニア・EA
5月	グランプリ(チェコ)	3月NT選考会	ユニバ
5月	ワールドカップ(ドイツ)	3月NT選考会	U-30・U-22
6月	ワールドカップ(アゼルバイジャン)	5月NT選考会	U-30・U-22
8月	【仮称】ユース射撃大会(韓国)	R:5月NT選考会 P:5月生徒・学生AP大会含	ユース(大学生を除く)
9月	ジュニアカップ(アゼルバイジャン)	7月NT選考会	ジュニア・EA
9月	世界大学選手権(ポーランド)	日本学生選抜大会含	ユニバ
12月	アジアエアガン選手権(イラン)	10月全日本・全日本選抜	U-30・ジュニア
1月	欧州エアガンツアー	R:同上、P:秋季NT選考会	U-30・EA
1月	国際エアガン選手権	同上	U-30・ジュニア・EA
2月	欧州エアガン選手権	同上	U-30・ジュニア・EA

※国際ルール出場資格：大会が開催される年の12月31日の満年齢が以下の通りであること。

- ・ ジュニア種目は20歳以下
- ・ ユース種目は15歳から18歳以下
- ・ ユニバ種目は大会が開催される年の1月1日現在、17歳以上28歳未満であること。

なおかつ、大学生または大学院に在学中もしくは大会の前年に卒業し、日本国籍を有する選手。

〈表5〉 カテゴリー区分と基準点

ライフル種目

カテゴリー		10m 60M	10m 40W	50m 3×40M	50m P60M	50m 3×20W	目標		事業内容
NT H 基準 (参考)		624.6	415.1	1169	624.0	582	—		—
U-30	30歳 以下	621.0	414.0	1160	621.0	580	NT 2020 東京 OG メダル獲得		NT合宿へ派遣 国際大会派遣 MPA合宿
U-22	22歳 以下	619.5	413.0	1156	618.0	578	NT 2017 ユニバ メダル	—	国際大会派遣 MPA合宿
	20歳 以下	618.0	412.0	1150	616.0	575			
U-18	18歳	615.0	410.0	—	—	—		2018 YOG メダル	
	17歳	612.0	408.0						
	16歳	609.0	406.0						
U-15	13歳 以上 15歳 以下	600.0	400.0	—	—	—	2018 YOG メダル	JWC メダル	国際大会派遣 MPA合宿 研修会 練習会
U-12	10歳 以上 12歳 以下	空気銃 年少射撃 資格取得者		—	—	—	2022 YOG メダル		

ピストル種目

カテゴリー		AP60 M	AP40 W	50m ピストル	25m ピストル	RFP	目標		事業内容
NT H 基準 (参考)		578	382	558	579	578	—		—
U-30	30 歳 以下	573	378	552	576	570	NT 2020 東京 OG メダル獲得		NT合宿へ派遣 国際大会派遣 MPA合宿
U-22	22 歳 以下	566	375	546	570	564	NT 2017 ユニバ メダル	—	国際大会派遣 MPA合宿
	20 歳 以下	560	372	540	564	558			
U-18	18 歳	552	368					2018 YOG メダル	
	17 歳	543	360						
	16 歳	534	356						
U-15	13 歳 以上 15 歳 以下	510	340	—	—	—			
U-12	10 歳 以上 12 歳 以下	空気けん銃 年少射撃 資格取得者					2022 YOG メダル		

※ NT: National Team

OG: Olympic Games YOG : Youth Olympic Games JWC :ISSF junior World Cup